

2003 年度（平成 15 年度）第 3 回理事会記録

日 時：2003 年 4 月 3 日（木）13:20～14:20

場 所：アクロス福岡 2 階セミナー室 1

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、柴田洋三郎、高田邦昭、山科正平（以上常務理事）、井出吉信、大野伸一、木山博資、正村静子、菅沼龍夫、仙波恵美子、竹内義喜、武田正子、福本哲夫（以上理事、但し武田理事は途中参加）、上田秀一、内山安男、（以上監事）、依藤宏（幹事）、小森雄一郎（学会事務センター）

欠席者：近藤尚武、杉浦康夫、高野吉郎（以上理事）

（上記各項目五十音順）

・理事長挨拶及び 2003 年・2004 年度学会運営基本方針

重要な 2 期目を担当することになり、責務を果たしたいと考えている。今期の方針としては前期の継続として、1. 学術集会の充実：来年京都で開催される国際解剖学会議に関しては解剖学、形態学は日本がリーダーシップを発揮しなければならない分野であるので、成功に向けまとまって努力してゆきたい。2. IFAA, APICA などの実状調査：構成している各国の学会との関係が必ずしも明らかではない。この点について実状を調査した上で日本の解剖学会としてどのような対応をとるべきかを決定する必要がある。3. ASI の発展：欧文誌 ASI は順調にすべり出し、これを益々発展させてゆきたい。4. 総会、学術集会の充実：長期的視野に立って学術集会を充実させてゆく必要がある。生理学会などとの共催も可能性としては考えてもよいかもしれない。5. 財政面：昨年度から欧文誌に対する科研費の刊行補助金が得られたがまだまだ厳しい状況にあり、一層の改善に取り組んで行かねばならない。ところで学会活動については、さまざまな御意見があたりだとは思いますが、学会としてのまとまりのある見解を出すことができれば文部科学省へも学会として意見を提出することも可能なので、特に解剖学会全体の方向性についての御意見をお願いしたい。

・議事録署名人の選任

議事録署名人として井出吉信、大野伸一両理事が選任された。

・幹事設置の件

幹事の設置が提案され、前期に引き続き、依藤宏群馬大学教授が務めることが承認された。

・2003・2004 年度（平成 15, 16 年度）各種委員会編成の件

各種委員会委員構成一覧が提示、選定基準等の説明がなされ、審議の結果承認された。

・2003 年度（平成 15 年度）奨励賞選考委員会編成の件

選考委員一覧の資料をもとに委員選考基準の説明がおこなわれ、審議の結果承認された。

・次回理事会日程の件

理事会は定款により年 3 回と定められているが、今年度は役員改選の年にあたり、既に今回が第 3 回となっている。しかるに解剖学会の事業・会計年度は 1 月～12 月であり、科研費審査委員の推薦、来年度の予算、事業計画の審議など最低 1 回は必要で 11 月～12 月初旬の開催が適当であろう。ま

た場合によっては、8月頃インターネットによる理事会の実施が必要になる可能性もあるとの説明がなされた。この提案に対し、特に異論はなく了承された。

. その他

1. 寄付あるいは賛助会員募集の協力要請

山科会計担当理事より標記の案内を役員の連名で出すので御協力願いたい旨、要請があった。

2. 申請による評議員の可否の判定、学術集会時の保育室開設、学会名簿に性別を記載することの是非、解剖学教室の名称変更に伴い解剖組織技術士認定規約を改訂することの必要性等の問題点の提起があり、今後検討課題としてゆくことでした。

3. 欧文誌 **Anatomical Science International** を充実させ、**Impact Factor** を取れるようにしたい。については良い論文の投稿、掲載論文の積極的な引用等の要請がなされた。